



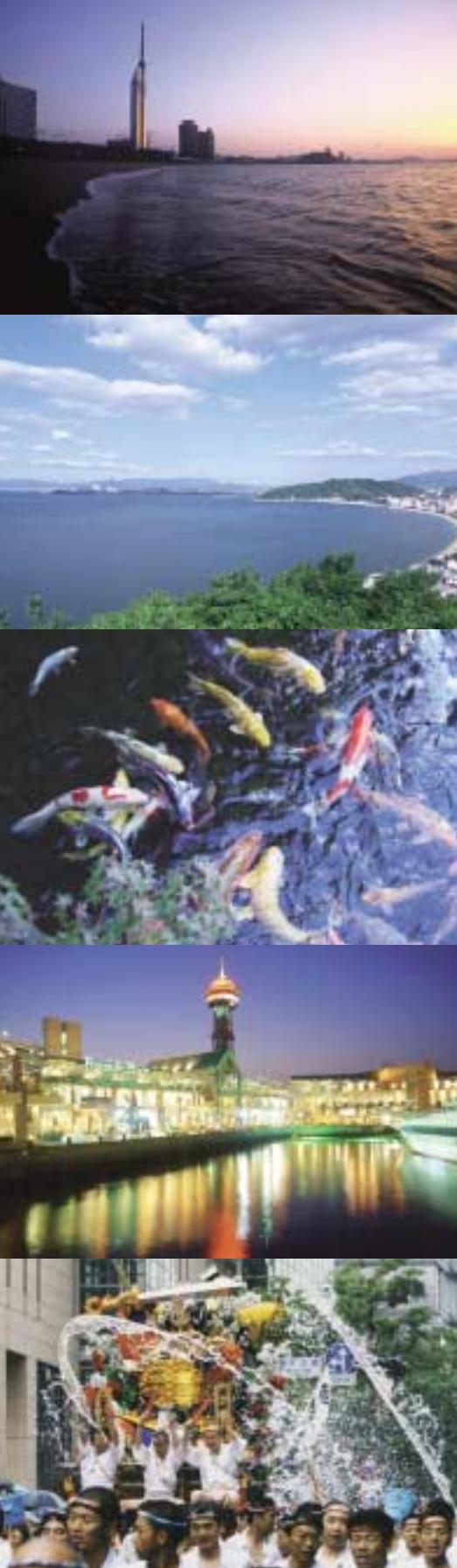
- A.空から見た福岡市
B.小戸ヨットハーバー
C.マリノアシティ
D.舞鶴公園
E.博多灯明ウォッキング
写真提供:博多部まちづくり協議会事務局
F.姪浜漁港の朝市
G.能古島より志賀島を望む
- H.西中島橋からの那珂川
I.大濠公園
J.福岡市博物館
K.博多祇園山笠
L.ペイサイドプレイス
M.友泉亭公園
N.今山から市街地を望む
O.シーサイドももち

O		B
N		C
M		D
L		E
K	J	G
	I	F



さいと
「彩」はかがやき、「都」は都市の意。
人がかがやき、まちがかがやき、都市が彩られていく。
そんな都市・福岡のイメージを表す。

- 特集 水が彩る都市 ふくおか 1
第18回 福岡市都市景観賞受賞作品 7
第8回 福岡市景観エッセー 12
都市景観室事業・編集後記 14



海に開かれたまちづくりの取り組みは、1980年代からのシーサイドももちのマリゾン、砂浜や松林の復活などを皮切りに、ふ頭の再開発によるベイサイドプレイスなどが進められ、今では、確実に日常生活の一部となっています。

潤いや癒しをもたらす優しさと、人を寄せつけない激しさ。水辺は、常に穏やかな表情ではなく、時には波立ち、うねり、荒々しい表情も見せます。飛行機が福岡空港へ着陸態勢を取るとき、博多湾が実際に優しい水面であることが、手に取るようにわかります。志賀島から海の中道、能古の島を両腕に見立てる、「海に抱かれる商都～福岡」がイメージされます。

今回は博多湾や那珂川から、日常生活に点在する風景まで、福岡の街に存在する様々な「水の表情」を特集してみました。